

## (小学校用) 令和6年度 福祉教育プログラムメニュー

ふくしとは・・・「ふだんの・くらしの・しあわせ」です。

「福祉」は特別なものではなく、「みんな」ということがポイントです。

講話や体験をとおして、「福祉」を身近なものとして受け止めて、みんなが幸せに暮らしていくためには何が必要か、自分のこととして考えてもらうきっかけづくりを目指します。

### 【実施までの流れ】

2か月前までにご連絡ください。  
学校に出向き、日程・会場・対象者、希望するプログラムの詳細等について打合せを行います。



打合せの内容をもとに、プログラムを作成し、学習シートや資料の作成を行います。



当日、終了後、振り返りシートの提出にご協力お願いいたします。

### ①福祉の基礎知識編

タイトル	詳細	講師	所要時間	備考
ふくしってなんだろう	福祉は特別なものと思いがちですが、本当は身近なものであることを学びます。	当会職員	1コマ	
ボランティアってなんだろう	どのような活動があるのか、どのような気持ちが必要か、ボランティアについての基本を学びながら、日頃の相手に対する思いやりの気持ちの大切さを学びます。		1コマ	
ユニバーサルデザインってなんだろう	みんなが暮らしやすいまちや日常に溢れている便利なものはどのようなものかを考えます。		2コマ	
共同募金について	毎年行われている赤い羽根共同募金運動について、募金の成り立ちや、使い道などについてお話します。		1コマ	

## ②高齢者・障がい者理解編

タイトル	詳細	講師	所要時間	備考
点字学習	点字体験を通じて、視覚に障がいのある方の理解を深めます。	当会職員又は 外部講師	2コマ	※
手話学習	手話体験を通じて、聴覚に障がいのある方の理解を深めます。		2コマ	※
音声訳学習	音声訳体験を通じて、視覚に障がいのある方の理解を深めます。		2コマ	※
アイマスク体験	アイマスクを使用しながら、視覚に障がいのある方に対する介助の仕方を学びます。		1コマ	※
見えない・聞こえない ってどんなこと	見えない世界、聞こえない世界を体験しながら、想いを伝える、助け合う大切さを学ぶ中で、相手への思いやりの心を育てます。		1コマ	※
車イス体験学習	車イスを使用し、体育館や玄関、校外で基本動作や介助方法を学習します。車イスの操作、体験をし慣れるとともに、車イスの役割について考える学習の機会をつくり、車イス理解の可能性が広がるきっかけをつくります。		2コマ	※
高齢者疑似体験	体験セットを着用して階段昇降、物の見え方などを体験します。	2コマ	※	
認知症理解のための寸劇	認知症を理解していただくため、家族や地域の方がやりがちな対応を悪い例と良い例と見ていただき、対応方法の要点や注意点をお伝えし、地域で認知症の人を見守る事の大切さを理解してもらいます。	当会職員が演じた寸劇のDVDを上映します。		

## ③その他

タイトル	詳細	講師	所要時間	備考
現場で体験してみよう	村内福祉施設、サロンなどの見学やボランティアを体験。	要相談		
防災教育	防災学習について、ぜひご相談ください。	外部講師	要相談	

備考※：外部講師に依頼した場合、講師謝金が必要となります。

- ・組み合わせてのプログラムも可能です。
- ・講師の日程の都合などにより、実施が難しい場合もございます。予めご了承ください。